

土壌の構造に関する次の記述ア～エのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ア. 土壌を構成する固体、液体、気体の三つの相の体積比率の分布を三相分布といい、一般に、有機物の多い土壌は少ない土壌に比べて固相率が高い。
- イ. 土性とは、粒径分布によって分類される土壌の名称であり、砂、シルト、粘土の重量割合から決定される。
- ウ. 土壌水は保水様式によって重力水、毛管水、膨潤水、吸湿水に分けられる。これらのうち植物が吸収可能な水は重力水、毛管水、膨潤水である。
- エ. 土壌の団粒構造が発達すると、保水性、透水性、通気性、根の伸張性が高まり、植物にとって好ましい生育環境がつくられる。

1. ア, イ
2. ア, エ
3. イ, ウ
4. イ, エ
5. ウ, エ